

飼い主に相性の良い犬検索システムの構築

985078 佐東 力

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

97年度では、全国で64万6600匹のペットが処分されている。なぜこれほどのペットの命を奪わなければならないのか。ほしくなったらペットショップで買い、いらなくなったら捨ててしまうという無責任な飼い主がいる事が考えられる。そこで本研究では、ペットの中で犬に注目して研究を進めた。こうした犬達の悲惨な現状を少しでも改善させるために、犬販売店の店頭などで使うことを目的として、購入する前に飼い主と相性の良い犬を検索できるシステムを構築した。

2. システムの構成

本システムでは、まずメイン画面から検索ボタンを押すことで検索画面が表示され、6つの条件から検索できる。犬名検索では有名な犬から余り知られていない犬まで、数多くの情報を見る事ができる。また、比較検索により最大3種類の犬のデータを同時に見る事もできる。その他に編集画面は新しい情報が入った時、容易にデータベースの変更ができる。説明画面は本システムの使い方や言葉の説明が明記されている。ランキング画面は各国の犬の人気ランキングが表示されている。

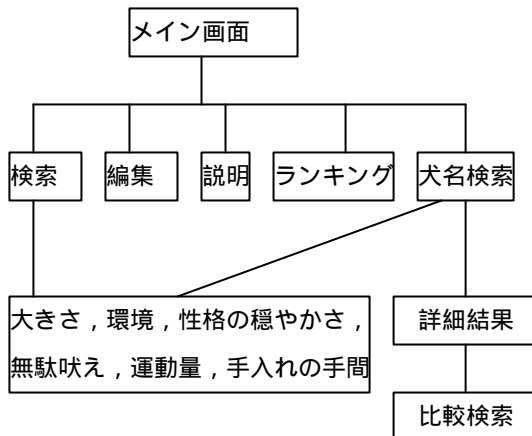


図1 システム構成

3. 実験結果

検索システムでは、1つのフォーム上で、さまざまな検索をすることができる。6つの選択条件があり And 検索を使用しているため、1つから最大6つまで検索ができる。



図2 検索画面

4. まとめと今後の課題

本システムを評価するために、大学生15名に使用してもらいアンケートを取った。その結果をまとめると、初めて犬を購入する人でも、また、すでに犬を買っている人でも興味を持てるものであることが分かった。その理由としては、操作方法が簡単な事や、すばやく検索できる事、今までにない検索システムで購入する前に犬との相性が分かる点などがあげられる。この結果により、犬販売店の店頭などに用いる事もできるのではないかとと思われる。今後の課題として、選択肢を増やす、詳細結果に犬の画像を取り入れる、詳細結果の情報を増やすなどがある。今後これらを改善し、システムの性能と実用性の向上を目指していく必要がある。